

課題解決力の深化 サステナビリティ戦略



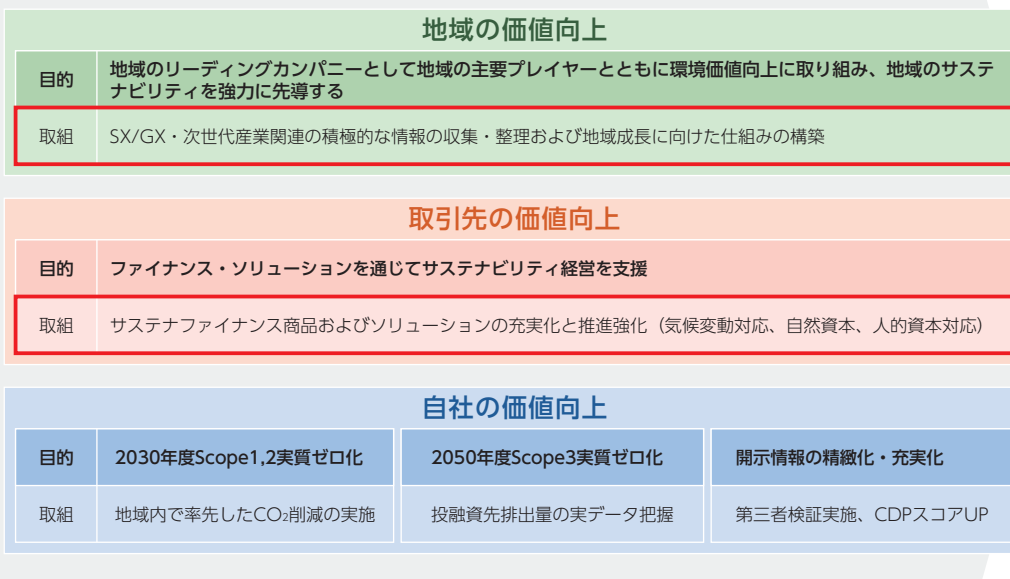
戦略概要

地域のポテンシャルを当社グループとして最大限発揮していくために、当社グループは、SX/GXを戦略上の中核として位置づけ、地域・取引先を先導していくことが重要と考えています。
第6次中期経営計画「NEXT STAGE」では、「地域」「お取引先」「自社」の3つの価値向上をゴールに各種施策に取り組んでいきます。また、その施策を推し進めるための基盤として、前中計より積極的に取り組んできた「地域・自社のSX/GXを実践する人材の高度化」をさらに進化させていきます。

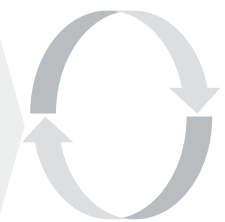
目指す姿・戦略の方向性

- 地域のポテンシャルを最大限発揮することのできる地域金融機関としての存在感の向上
- ポテンシャルの向上によりサステナビリティなお取引先の経営および当社グループの経営の実現
- 地域の社会・環境課題の解決と経済の両立

SX/GXを戦略上の中核と位置づけ、地域・取引先をリードする



地域の社会・環境課題の解決



自社の持続的成長

【基盤構築】地域・自社のSX/GXを実践する人材の高度化

研修の充実化・評価の新設

	2025年度	2026年度	2027年度
コア人材	SX/GX専担部署に一定期間配置し、ノウハウを蓄積		
ミドル人材	環境省認定脱炭素アドバイザーアドバンスト相当の取得推奨		
	スキルの維持・高度化を図るための新制度設計	新制度で認定された人材を 主要店舗に配置	新制度で認定された人材を 全店舗に配置
ベース人材	全員参画を目指したFG評価制度の新設		

具体的な取り組み

地域の価値向上に向けた取り組み

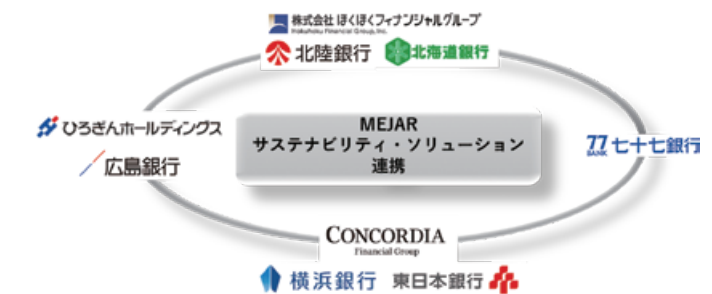
地域の価値向上に向けて、自治体をはじめ同業種・異業種問わず連携を図りながら取り組んでいくことが重要です。

・自治体・各種団体との連携強化

事業受託	●北陸銀行では、令和6年度に続き令和7年度富山型GX推進事業の受託をしています。自治体が公募する事業を受託することで、自治体との連携強化、地域の全体の波及効果促進に向け、さらなる事業の受託を進めていきます。
連携協定締結	●北海道銀行、北陸銀行は、北海道地方環境事務所と地域の脱炭素を進めるため包括連携協定を結んでいます。また、北海道銀行は、蘭越町、福島町など自治体とも連結協定を締結し、地域の脱炭素化を促進していくための体制構築を進めていきます。
人的ネットワーク	●連携強化に向け積極的に出向を進めています。環境省をはじめ、北海道庁、千歳市などに人員を配置し、互いの考えを理解し合いながら効果的な戦略を議論していく体制構築を進めています。

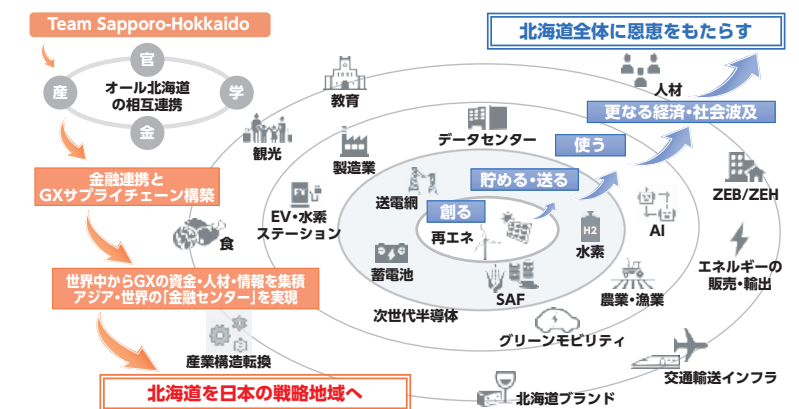
・同業種との連携強化

2022年度より、共同利用システム「MEJAR」を利用する当社グループ（北陸銀行、北海道銀行）、コンコルディア・フィナンシャルグループ（横浜銀行、東日本銀行）、七十七銀行、ひろぎんホールディングス（広島銀行）の各金融機関が、サステナビリティ推進において「ファイナンス」「啓蒙」「ソリューション」の3つの観点において連携し、地域のサステナビリティの推進をしています。この枠組みは、今後もさらに進化させ、各地域の取り組みの認識や融合により、効果的かつ効率的に施策を実行していきます。



・異業種との連携強化

当社は、2023年6月に設立された産学官金からなるコンソーシアム「Team Sapporo-Hokkaido」の事務局の一員としてコンソーシアム間の連携を拡大していきます。
また、当コンソーシアムのファンド・ファイナンスワーキンググループのグループ長として、企業のステージに応じたファンドやファイナンスのスキーム検討を進めています。
北海道におけるこのような取り組みにおけるノウハウを蓄積することで、当社グループがもつ広域店舗網を活用し、北海道に限らず、北陸のGXの推進にも貢献していきます。

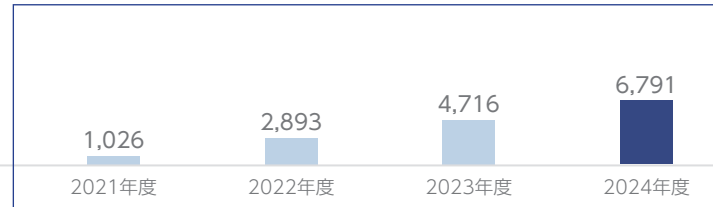


取引先の価値向上に向けた取り組み

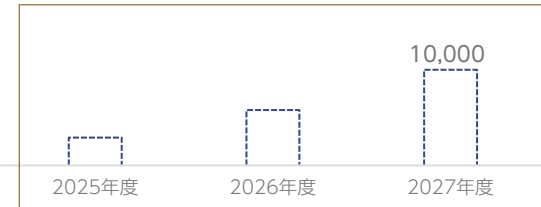
●SX/GX関連投資累計額 1兆円

当社グループは、第6次中期経営計画「NEXT STAGE」の公表とともにサステナブルファイナンス実行累計額目標を見直し、2025年度から2027年度の3年間での実行累計目標額を1兆円に引き上げ、地域金融機関としてファイナンスを通じた地域・お取引先のサステナビリティ向上を強化していきます。

サステナブル関連投資累計額実績（億円）（2021～2024年度）



SX/GX関連投資累計額目標（億円）（2025～2027年度）



主な強化ポイント	
サステナファイナンスの推進	GX関連リース案件の強化
PIFの強化	半導体関連投資案件の強化
SLLFW型の新商品開発	環境配慮型住宅ローンの推進
GXポテンシャルを踏まえたプロジェクトファイナンスの強化	環境配慮型マイカーローンの推進

●SX/GX関連ソリューション収益累計額 40億円

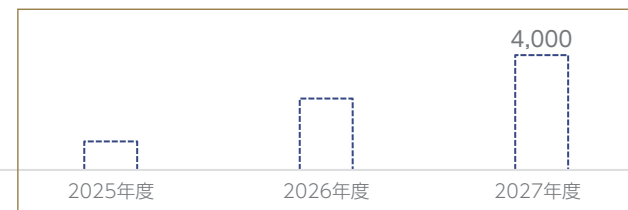
お取引先において、SX/GXへの取り組みは、まだまだ1丁目1番地ではありません。一方で、取り組み意向がある企業でも十分な社内リソースを確保することも難しいのが現状です。

そのような中で、お取引先のパートナーとして伴走支援することが非常に重要となります。当社グループは、お取引先の個別のニーズに合わせたソリューションを提供するため、これまで以上にソリューションの深化と拡充を進めていきます。また、しっかりと相談いただくことのできる人材育成もさらに強化していきます。

サステナ関連ソリューション収益累計額（百万円）（2022～2024年度）



SX/GX関連ソリューション収益累計額（百万円）（2025～2027年度）



●人材育成 中期経営計画目標:SX/GX人材(コア・ミドル)350名

お取引先へのご支援には、人材の育成が欠かせません。当社グループは、独自の教育プログラムにより人材の育成を強化しています。

SX/GX人材(コア・ミドル) (名)



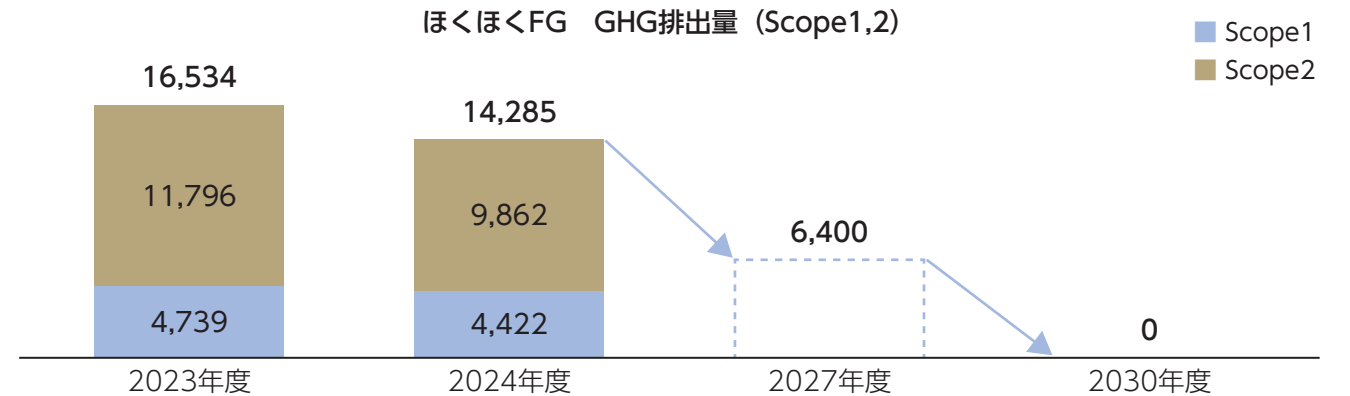
制度	概要
お試しインターンシップ	1週間程度から本部業務を体験できる制度、当社グループのSX/GX戦略理解の入り口
サステナビリティトレーニー	当社グループ独自の研修制度、インプットとアウトプットを適正配分した研修によりSX/GXの実践に取り組める人材を育成、研修終了者は、ミドル人材として定義
チャレンジジョブ制度	SX推進部での勤務を挙手制で希望できる制度、勤務年数に応じてコア人材として定義

自社の価値向上に向けた取り組み

地域・お取引先のサステナビリティ推進に向けて、当社グループが率先して取り組むことがベースとなります。

●自社のGHG排出量削減(Scope1,2) 中期経営計画目標:6,400t-CO₂

(単位:t-CO₂)



当社グループは、人に言う前にまずは自分が率先するという考えのもと、「2030年度までに自社グループにおけるScope1,2のGHG排出量を実質ゼロとする」「2050年度までに投資ポートフォリオを含めたサプライチェーン全体Scope1,2,3のGHG排出量を実質ゼロとする」という2つの長期目標を立てています。

その実現に向け2024年2月「ほくほくFG脱炭素ロードマップ」を策定し、実現に向けた施策を着実に実行しています。引き続きロードマップに沿って施策を進め中期経営計画はもちろんのこと長期目標の実現を目指していきます。

ほくほくFG脱炭素ロードマップ進捗

施策		実績	目標
		2024年度末	2030年度末
Scope1	社用車の環境対応車切替	EV化 11台 HV化 25台	50台以上
	カーボンオフセットガスの追加導入	190千m ³	170台以上
	カーボンクレジットの活用		400千m ³ 以上
Scope2	店舗のZEB化	3店舗	10店舗以上
	店舗の省エネ化	67店舗	90店舗以上
	再エネ由来電力の追加導入	6,461MWh	12,500MWh以上

サステナビリティ戦略を成長エンジンに



ほくほくフィナンシャルグループ
SX推進部副部長
多賀 公昭

ほくほくフィナンシャルグループは、第5次中期経営計画「Go forward with Our Region」において重点戦略の一つとして「環境分野への取り組み」を推進してきました。結果、人材の育成や、ソリューション商品の充実化、各種団体との連携など一定の成果を得てきたものと自負しております。

一方で、当社グループにおいて本業を支える存在までには、なれていないとも認識し

ています。第6次中期経営計画「NEXT STAGE」においては、さらに進化をさせ、まさに当社グループの成長エンジンとなるべく、各種施策に取り組み、「ほくほくフィナンシャルグループ＝SX/GXのパートナー」とあらゆるステークホルダーに認識していただけるような存在を目指してまいります。